

6 月定例県議会での質疑状況

- 1 議会名：平成 17 年 6 月定例県議会
- 2 質問者：宮川英之議員
- 3 質問日：7 月 1 日（金）
- 4 答弁者：知事
- 5 質問項目
県立大学の独立行政法人化について

大学全入時代を 2 年後に控え、各大学は個性化を図り、学生確保に必死になっている。

県立大学は、法人化後においても、地域に根ざした特徴ある大学として学生や地域から支持されることが重要であり、このためには、県民や地域社会の様々なニーズ（例 国際化や地域活性化にも資する留学生の受入体制の充実、即戦力となる人材を育成するための成績評価の厳格化、資格取得の促進、教員の資質向上、大学院の整備充実、特待生制度の創設など）を法人自らが把握し、これに的確に对应して行かなくてはならないと考えるが、

独立行政法人化により、県立大学の運営主体が県から法人に移行するが、県は県立大学の目指すべき大学像についてどのように考えているのか。

また、大学運営に県民や地域社会のニーズが反映されるような法人の形づくりをしておくことが重要と考えるが、所見を伺う。

(答弁)

私からは山口県立大学の独立行政法人化についてのお尋ねにお答えいたします。

お示しがありましたように、少子化の急速な進行に伴いまして大学全入時代の到来を間近に控え、大学は、受験生を選ぶ時代から、受験生に選ばれる時代へと、大きな変革の時代を迎えております。

こうした中にありまして、県立大学が教育研究の一層の活性化を図り、厳しい大学間競争に勝ち抜いて行くためには、大学が目指す目標を明確にし、運営の自主性・自律性を高めることが重要であると考えまして、来年4月から独立行政法人に移行することにいたしましたのであります。

そこで、まず、県立大学の目指すべき大学像についてであります。県立大学は、健康や地域文化など「人」に着目した教育研究分野を有しておりますことから、まず一つは、その特性や独立行政法人としてのメリットを最大限に生かし、より一層個性化を目指し、これらの領域で、専門の学術を深く教授・研究することが求められていると考えております。

そして二つ目は、これらの人材の育成や研究成果の還元を通じて地域社会の期待に応える「地域貢献型大学」として、県民から高い評価が得られる大学とならなければならないと考えております。

次に、県民や地域社会のニーズが反映されるような法人の形づくりについてであります。

私は、県立大学が、法人化後も引き続き「山口県の県立大学」としての使命を果たすことが求められていることには変わりありませんことから、お示しのありました、国際化への対応や、社会が要請する人材の育成などを含め、県民や地域社会のニーズが大学運営に反映される仕組みをあらかじめ構築をしておくことも必要であると考えています。

このため、法人の意思決定に重要な役割を担う理事や、運営組織の根幹を成す「経営審議会」及び「教育研究評議会」の委員に、地域の意見が反映されるように、学外者を登用いたしますとともに、大学の事業計画に関しましても、外部有識者で構成する「評価委員会」からあらかじめ意見を聴くなど、大学運営に学外の意見が反映されるような組織・制度を確立して行きたいと考えております。

現在、県・大学・外部有識者で構成する「山口県立大学法人化準備委員会」で法人化に向けての審議を進めているところでありますが、県立大学が、県民から期待される「存在感」のある大学として地域社会の発展に寄与できるように、来年4月の独立行政法人への円滑な移行に向けて、大学と一体となって諸準備を進めてまいりたいと考えております。